

# リニア関連道路の整備効果

- 伊那谷交流圏の実現に向けて
- リニア3駅活用交流圏の実現に向けて

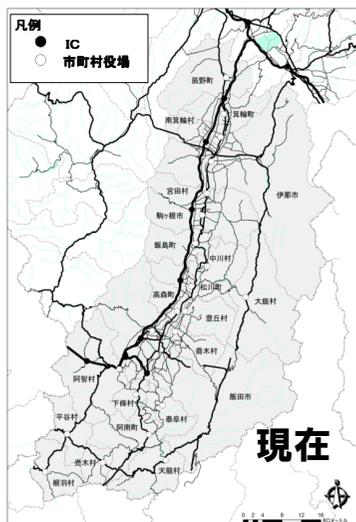
平成26年10月

長野県

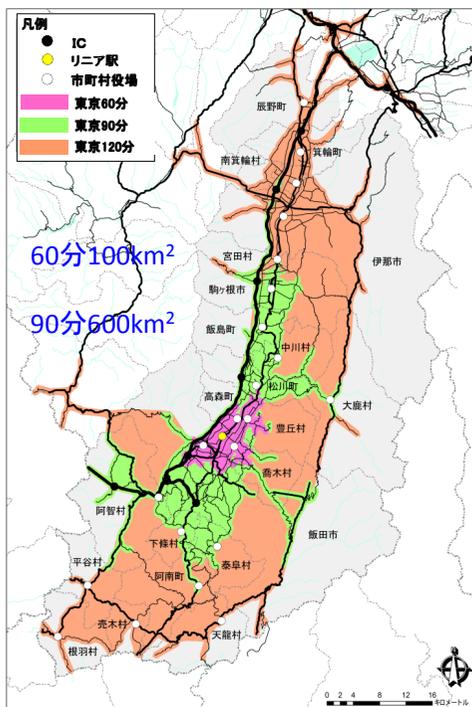
# 伊那谷交流圏の実現に向けて ～大都市圏との交流拡大(東京方面)～

◆ リニア中央新幹線開業と関連道路整備により、伊那谷の人口の85%が東京90分圏域となります。

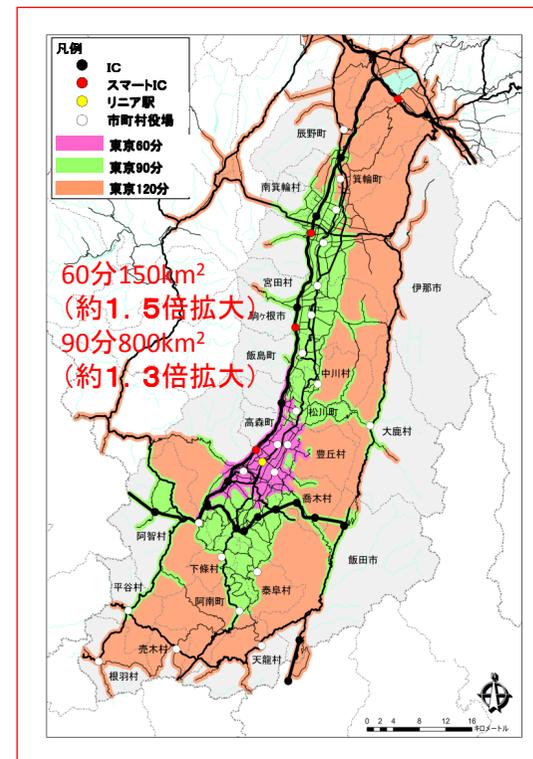
■ 東京(品川駅・高井戸IC)からの60分・90分到達エリア



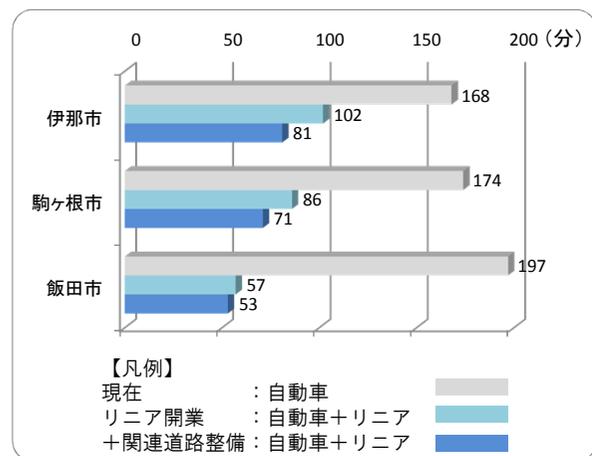
リニア  
開業により



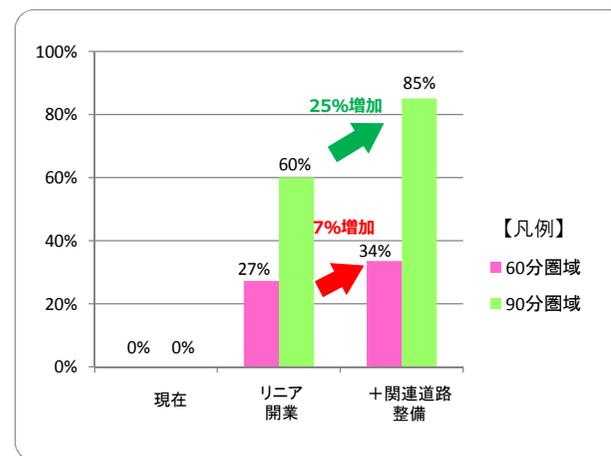
さらに  
関連道路の  
整備により



■ 東京からの所要時間(分)



■ 人口カバー率



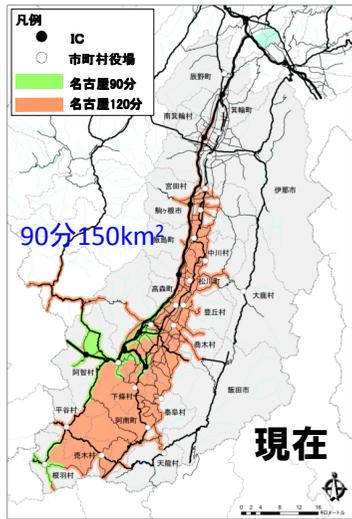
		人口	人口 カバー率
	伊那谷	361千人	—
現在	現況60分 90分	0千人 0千人	0% 0%
リニア開業	現況60分 90分	99千人 216千人	27% 60%
+関連道路 整備	将来60分 90分	121千人 307千人	34% 85%

(H22国勢調査 500mメッシュを利用)

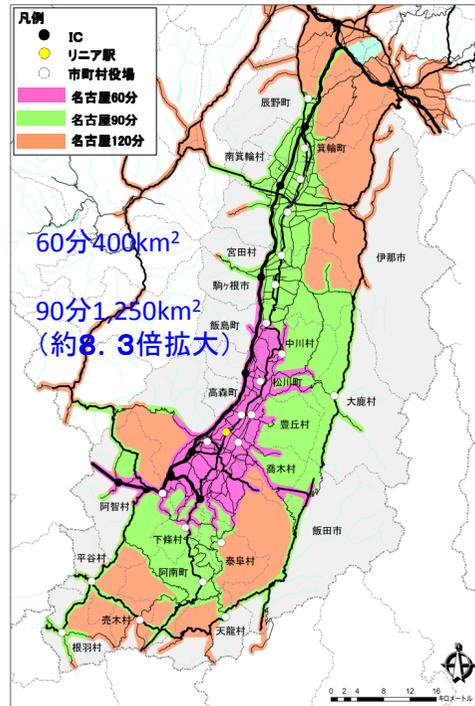
# 伊那谷交流圏の実現に向けて ~大都市圏との交流拡大(名古屋方面)~

◆ リニア中央新幹線開業と関連道路整備により、伊那谷の人口のおよそ60%が名古屋60分圏域となります。

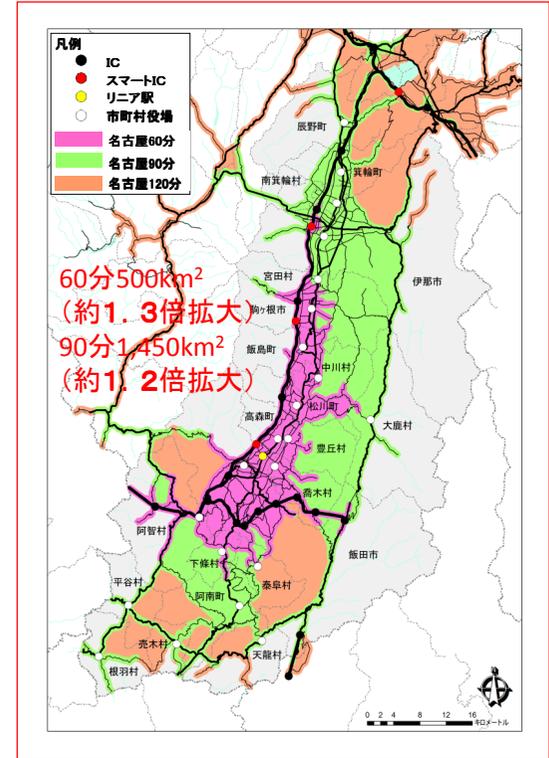
■名古屋(名古屋駅・名古屋IC)からの60分・90分到達エリア



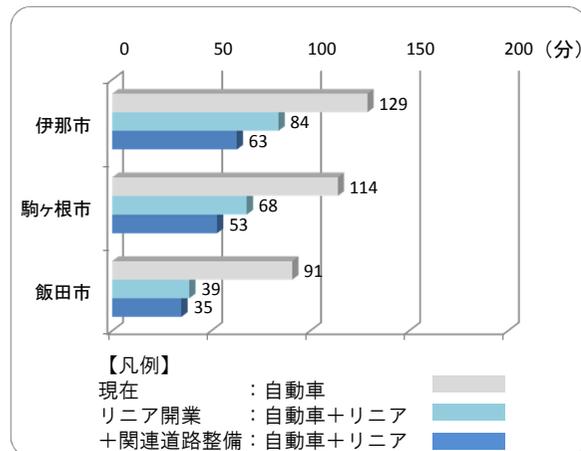
リニア  
開業により



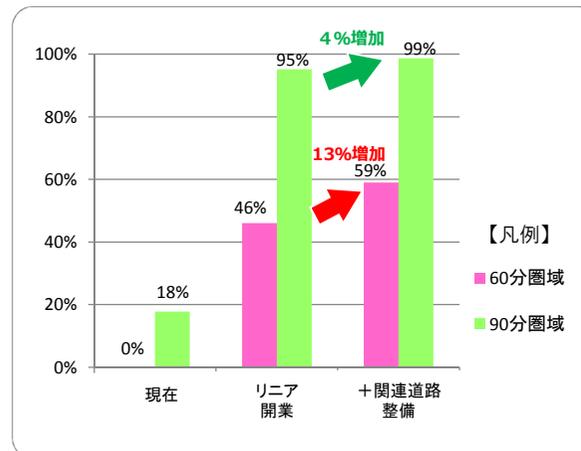
さらに  
関連道路の  
整備により



■名古屋からの所要時間(分)



■人口カバー率

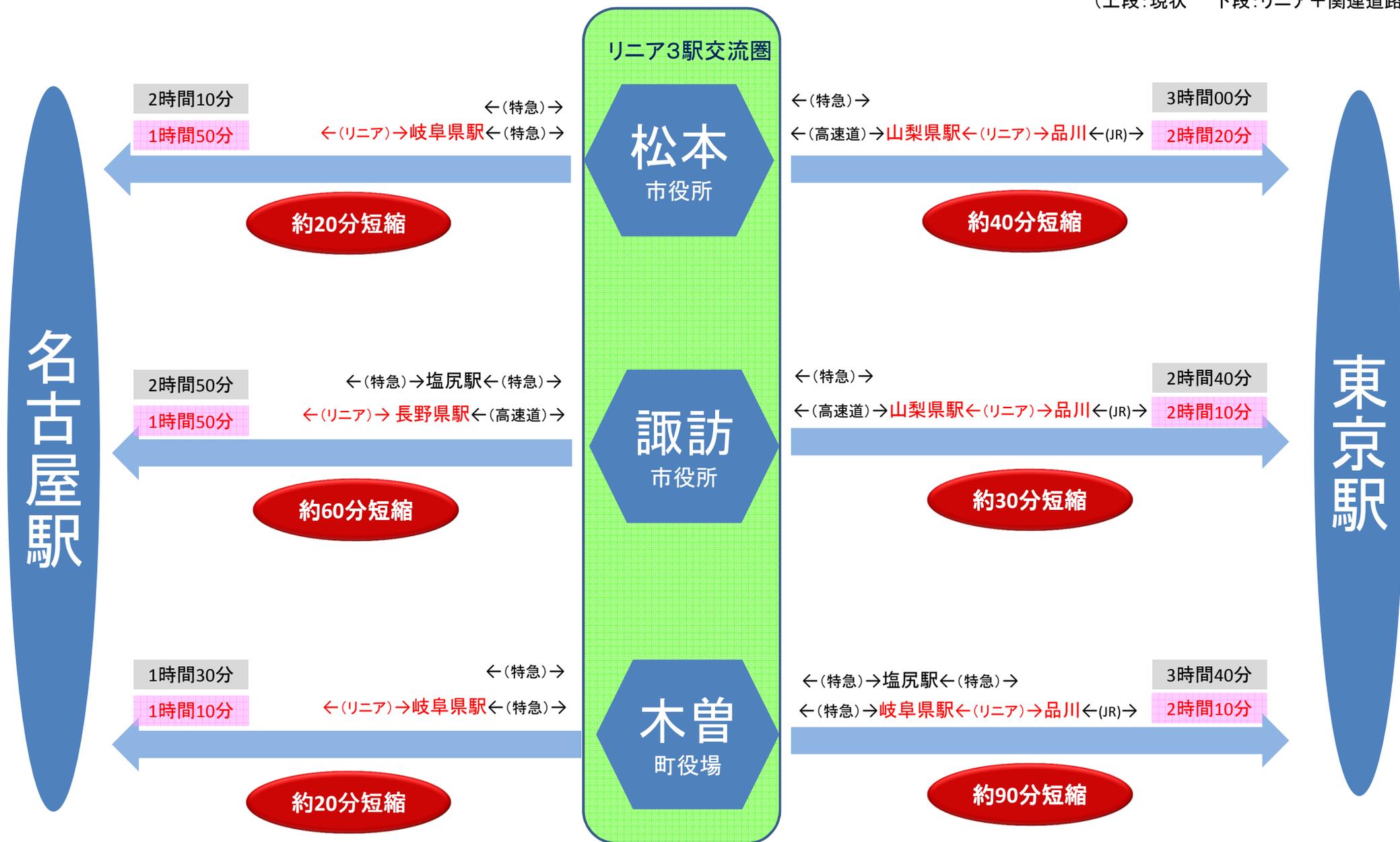


		人口	人口 カバー率
伊那谷		361千人	—
現在	現況60分	0千人	0%
	90分	64千人	18%
リニア開業	現況60分	166千人	46%
	90分	343千人	95%
+関連道路 整備	将来60分	213千人	59%
	90分	356千人	99%

(H22国勢調査 500mメッシュを利用)

# リニア3駅活用交流圏の実現に向けて(松本・諏訪・木曾地域)

(上段:現状 下段:リニア+関連道路整備)



## 効果

- 東京への所要時間は30~90分短縮 (リニア山梨県駅・岐阜県駅利用)
- 名古屋への所要時間は20~60分短縮 (リニア岐阜県駅・長野県駅利用)
- 中信地域を含んだ新たな周遊観光ルートの創出も期待される